

2023年12月 東京地区百貨店売上高概況

2024年1月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1,877億円余
2. 前年同月比(増減率)	6.2%(28か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭6.9%(91.1%)：非店頭-0.4%(8.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	744,130㎡ (前年同月比：-1.8%)
6. 総従業員数	13,622人 (前年同月比：-6.7%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 10.1%、6-8月 10.8%、7-9月 9.6%、 8-10月 8.1%、9-11月 8.1%、10-12月 7.8%

[参考] 2022年12月の売上高増減率は8.0%

【特徴】

- (1) 12月の東京地区は、売上高6.2%増(28か月連続)、入店客数7.5%増(12か月連続)と、共に前年実績を上回った。ラグジュアリーブランド等、高付加価値商材の好調に加え、増勢が続くインバウンド売上が全体を押し上げた。2019年比では7.3%増、2018年比でも3.8%増と、3か月連続でコロナ前の水準を上回る業績となった。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち、食料品を除く4品目がプラスとなった。主力の衣料品(11.2%増/27か月連続)は、月前半の暖冬の影響からコートは苦戦したものの、ジャケットやニット、セーター等、気温変化に対応可能な商材は好調に推移した。中でも、婦人服・洋品(14.3%増)と子供服・洋品(19.4%増)は二桁増となった。
- (3) 身のまわり品(11.0%増/28か月連続)は、引き続きラグジュアリーブランドが売上を牽引した他、旬の話題として1月1日の開運日(天赦日・一粒万倍日・天恩日)に向け財布を新調する動きが見られた。雑貨(9.8%増/28か月連続)は、化粧品ではメイクアップ、スキンケア商材共に好調で、クリスマスやインバウンド需要も加わり15.6%増と伸長した。
- (4) 食料品(1.4%減/2か月ぶり)では、菓子が和洋菓子共に好調だった他、クリスマスケーキは原材料費高騰等から平均単価は高くなったが、ほぼ前年並みに推移した。おせちもほぼ前年並み、歳暮は値上げの影響やコロナ禍のギフト需要が縮小して微減となった。
- (5) 2023年年間売上高は、前年比10.8%増(3年連続/1兆6,070億円)、2019年比では0.8%増とコロナ前の業績を上回った。2018年比では0.4%減と僅かに届かなかったが、ほぼ同水準まで戻した。1月中間段階の商況は、前年比7.6%増(1/18時点)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
①増加した：13店、②変化なし：2店、③減少した：2店
- (3) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数12店舗)
①増加した：5店、②変化なし：7店、③減少した：0店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	187,765,337	100.0	6.2
紳士服・洋品	12,901,862	6.9	5.5
婦人服・洋品	27,519,941	14.7	14.3
子供服・洋品	2,447,697	1.3	19.4
その他衣料品	1,921,328	1.0	-0.2
衣 料 品	44,790,828	23.9	11.2
身のまわり品	31,391,170	16.7	11.0
化粧品	15,502,672	8.3	15.6
美術・宝飾・貴金属	19,221,855	10.2	8.3
その他雑貨	5,668,996	3.0	1.1
雑 貨	40,393,523	21.5	9.8
家 具	2,109,915	1.1	30.4
家 電	782,730	0.4	-10.7
その他家庭用品	3,699,994	2.0	-3.6
家 庭 用 品	6,592,639	3.5	4.1
生 鮮 食 品	7,297,713	3.9	0.3
菓 子	18,368,804	9.8	5.1
惣 菜	14,092,490	7.5	-0.5
その他食料品	16,782,648	8.9	-9.0
食 料 品	56,541,655	30.1	-1.4
食 堂 喫 茶	2,776,703	1.5	10.7
サ ー ビ ス	1,967,458	1.0	-24.3
そ の 他	3,311,361	1.8	27.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	3,403,540 千円	-6.4
従 業 員 数	13,622 人	-6.7
店 舗 面 積	744,130 m ²	-1.8

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目でプラスとなり、衣料品、身のまわり品は二桁増となった。その他の品目は、化粧品が28か月連続、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、生鮮食品が3か月連続でプラスとなったが、惣菜が2か月ぶりにマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	6.2	—	28か月連続プラス
紳士服・洋品	5.5	0.4	26か月連続プラス
婦人服・洋品	14.3	2.0	28か月連続プラス
子供服・洋品	19.4	0.2	18か月連続プラス
その他衣料品	-0.2	-0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	11.2	2.6	27か月連続プラス
身のまわり品	11.0	1.8	28か月連続プラス
化粧品	15.6	1.2	28か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	8.3	0.8	7か月連続プラス*
その他雑貨	1.1	0.0	22か月連続プラス*
雑貨	9.8	2.0	28か月連続プラス
家具	30.4	0.3	3か月連続プラス
家電	-10.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-3.6	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	4.1	0.1	2か月ぶりプラス
生鮮食品	0.3	0.0	3か月連続プラス*
菓子	5.1	0.5	3か月連続プラス*
惣菜	-0.5	-0.0	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-9.0	-0.9	10か月連続マイナス*
食料品	-1.4	-0.5	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	10.7	0.2	22か月連続プラス
サービス	-24.3	-0.4	2か月ぶりマイナス
その他	27.4	0.4	11か月連続プラス
商品券	-6.4	-0.1	10か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

東京地区百貨店 売上高速報 2023年1月～2023年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,607,014,004	100.0	10.8
紳士服・洋品	116,430,472	7.2	13.7
婦人服・洋品	252,499,039	15.7	16.3
子供服・洋品	26,973,336	1.7	9.3
その他衣料品	19,077,795	1.2	-2.6
衣 料 品	414,980,642	25.8	14.1
身のまわり品	280,792,253	17.5	19.1
化粧品	139,659,254	8.7	20.8
美術・宝飾・貴金属	175,715,890	10.9	10.1
その他雑貨	55,541,290	3.5	12.0
雑 貨	370,916,434	23.1	14.2
家 具	17,470,699	1.1	9.8
家 電	12,414,778	0.8	7.5
その他家庭用品	36,004,858	2.2	3.0
家 庭 用 品	65,890,335	4.1	5.5
生 鮮 食 品	47,747,999	3.0	-0.9
菓 子	122,499,253	7.6	6.9
惣 菜	87,434,371	5.4	-0.7
その他食料品	131,125,546	8.2	-2.3
食 料 品	388,807,169	24.2	1.0
食 堂 喫 茶	29,278,041	1.8	19.1
サ ー ビ ス	23,332,414	1.5	-10.7
そ の 他	33,016,716	2.1	17.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	22,148,087 千円	-6.1
従 業 員 数	167,160 人	-6.6
店 舗 面 積	8,835,988 m ²	-6.5

営 業 日 数	30.3 日	前年	30.2 日
---------	--------	----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>